2 900000 140301

133000JDAQ01 IK

タカギ　混合栓施工説明書

takagi

蛇口一体型浄水器　みず工房 キューブ

■施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
■ここに示した「安全上のご注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
■施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、取扱説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。
■給排水管工事は専門業者でお願い致します。

安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただく前に

施工前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。

絵表示について　製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。

⚠注意　この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。

❗記号は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

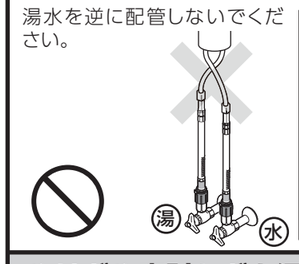
⃠記号は、触れてはいけない「接触禁止」を示しています。

⚠警告

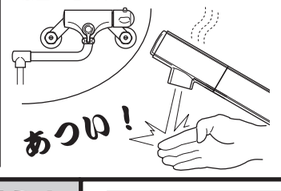
・本品は屋内設置用です。屋外では使用しないでください。・修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。
・必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。・この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。

やけどをするおそれがあります

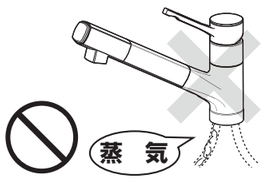
湯水を逆に配管しないでください。



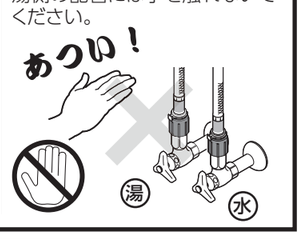
他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇することがあります。



給湯に蒸気を使用しないでください。

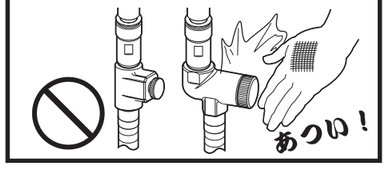


湯側の配管には手を触れないでください。



やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

水抜き継手（または逆止弁付き水抜き継手）は水抜き以外の目的で開けないでください（寒冷地仕様のみ）。また、湯側の水抜きをする場合は、事前に湯側で吐水して、高温の湯が出ないことを確認してから水抜きを行ってください。



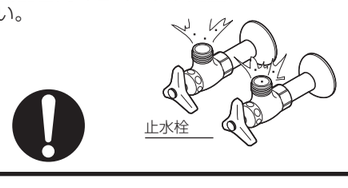
⚠注意

故障の原因になります

給湯温度は60℃以下で使用してください。60℃を超える高温でご使用になると浄水カートリッジが破損し、浄水器としての性能を維持できなくなる場合があります。

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

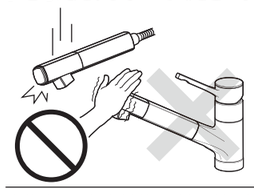
新設の場合、水栓を取り付ける前に、給水側・給湯側配管内のゴミなどを完全に洗い流してください。



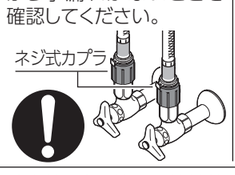
⚠注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

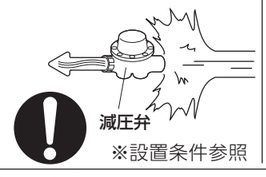
製品を落としたり、強い力や衝撃を与えたりしないでください。



止水栓にネジ式カプラを取り付けた際、接続部などから水漏れがないことを確認してください。



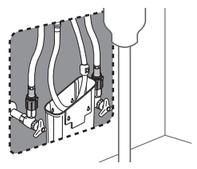
高水圧地区では減圧弁を設置してください。



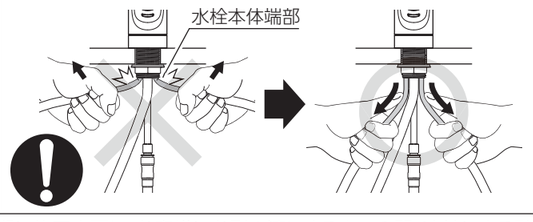
※設置条件参照

水栓及び各接続部は浮きや緩みがないように、しっかり固定してください。各接続部が確実に固定されていないと水栓が傾いたり、水漏れが発生するおそれがあります。

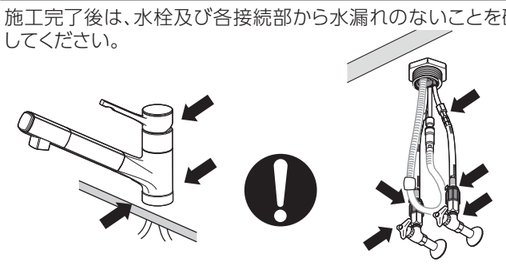
定期的に止水栓取り付け箇所や給水管、給湯管との接続箇所の点検がされていないと、水量調節や万一の漏水発生時に発見が遅れるおそれがあります。各接続箇所の確認が行なえない場合は、確認しやすい位置に点検ができる窓（点検口）を設置してください。



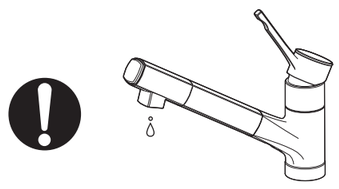
銅管を曲げる際は、銅管が水栓本体端部で折れ曲がらないよう指を添えるなどしてゆるやかに曲げてください。



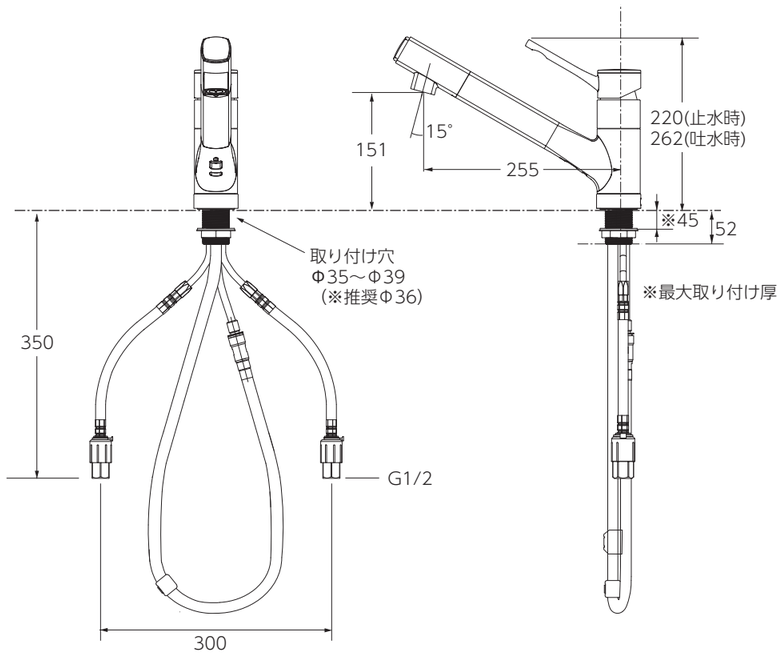
施工完了後は、水栓及び各接続部から水漏れのないことを確認してください。



冬期に施工完了し、お客様にお引き渡しするまでの間、凍結による破損が予想されますので、水抜きなどの予防処置を行ってください。（水栓に水抜き構造のあるものは水を抜いておいてください。）

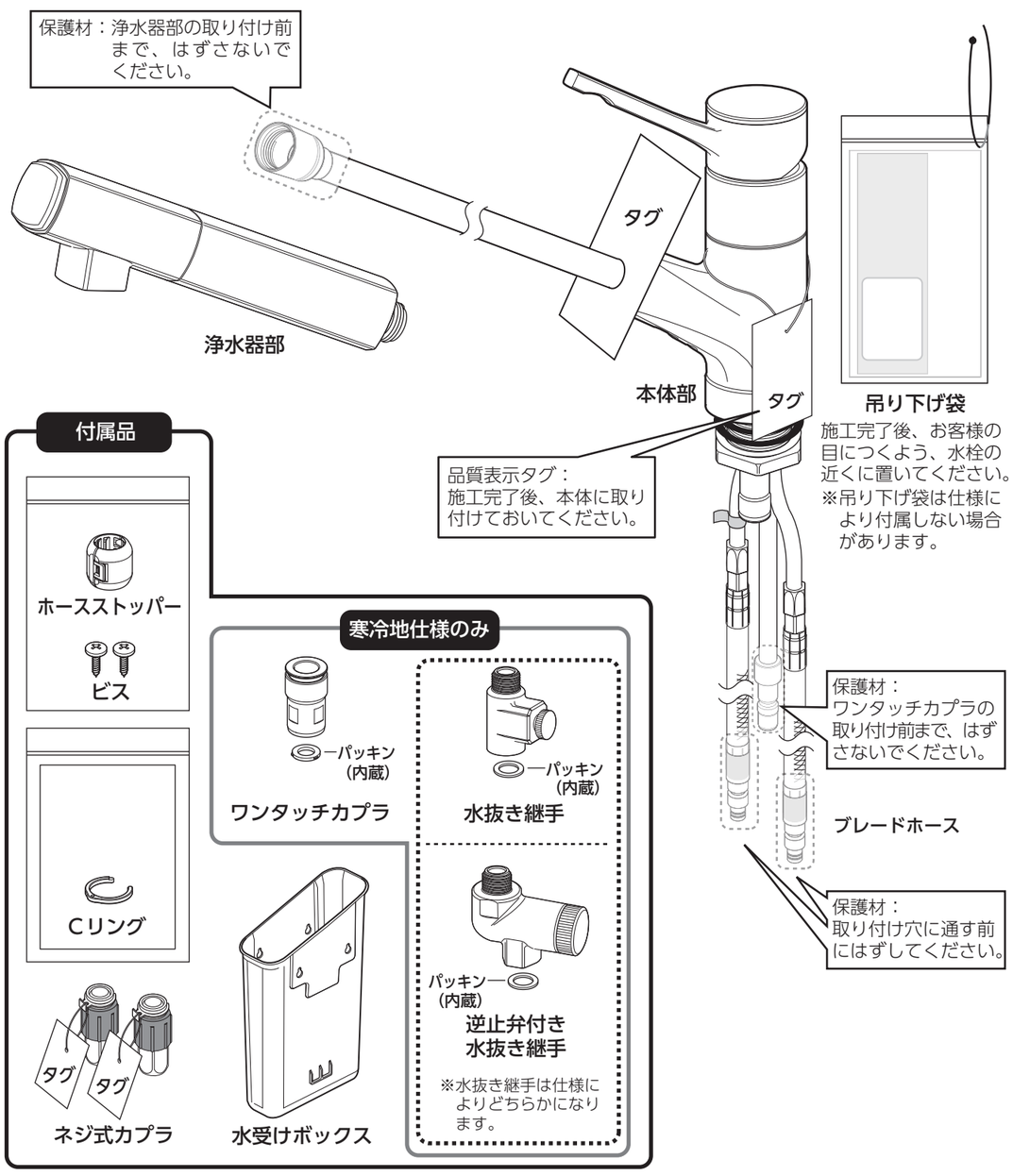


外観寸法図

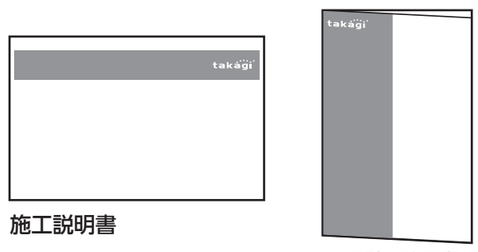


部品の確認

水栓・付属品

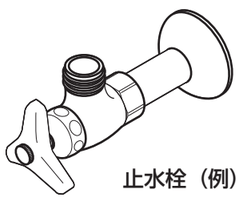


その他



施工説明書　取扱説明書

準備する部品



止水栓（例）

水量調整及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ず用意してください。
※ネジ規格はG1/2です。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

設置条件

■水圧条件
■給水・給湯圧力範囲は動水圧0.05MPa～静水圧0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。推奨圧力は静水圧0.2MPa～0.3MPaです。給水圧力が静水圧0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で静水圧0.2MPa程度の適正圧力に減圧してください。但し、給湯圧力は給水圧より高くならないように設定してください。
■給水・給湯配管は最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

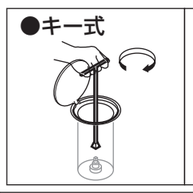
※給水圧力と給湯圧力は圧力差が少ない程、温度調節が容易になります。
※水道水の飲用基準に合格した水をお使いください。温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

1.施工方法

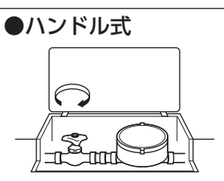
1-❶水道配管の止水栓を閉め水抜きを行う

配管部の止水栓などにより通水を止めて、水抜きを行います。

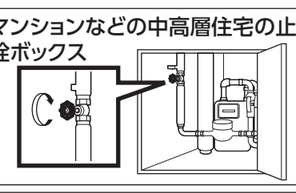
●キー式



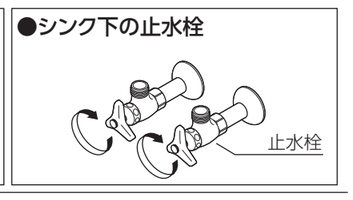
●ハンドル式



●マンションなどの中高層住宅の止水栓ボックス

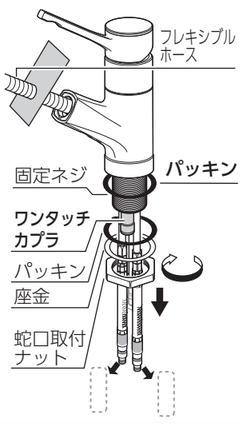


●シンク下の止水栓



1-❷蛇口取付ナット、座金、パッキンを取りはずす

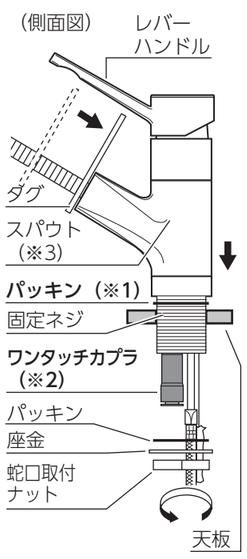
ワンタッチカプラを右図の位置にして蛇口取付ナット、座金、パッキン1枚を固定ネジからはずしてください（**もう1枚のパッキンは残しておきます**）。ブレードホース先端の保護材をとりはずします。

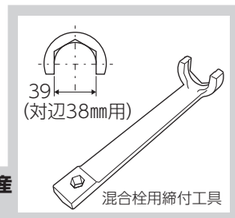


※寒冷地仕様の場合、ワンタッチカプラはフレキシブルホースに接続されていません。フレキシブルホースの末端が図のワンタッチカプラの位置となります。

1-❸本体部の取り付け

本体部の下面にパッキン1枚が付いていること（※1）を確認し、フレキシブルホースを引き出し**ワンタッチカプラを右図の位置にしてください（※2）。**
ワンタッチカプラの位置固定のため、タグを一度はずし、右図の位置に付け替えると施工しやすくなります（右図の位置にワンタッチカプラがないと、座金、蛇口取付ナットが固定ネジまで届かず施工できません）。
取り付け穴に本体部を差し込み、パッキン、座金、蛇口取付ナットの順に本体部の固定ネジに取り付け軽く仮止めします。
本体部の「takagi」ロゴが正面を向くように合わせたあと、蛇口取付ナットを矢印の方向に充分に締め込み、スパウト及びレバーハンドルが左右均等に動くことを確認してください。（微調整の際は、蛇口取付ナットを少し緩め調整してください。調整後は混合栓用締付工具で増し締めしてください。）
本体部取り付け後に、スパウトを下に下げてください。（※3）
タグは天板に本体部固定後、取りはずしてください。





⚠注意　**水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります**
蛇口取付ナットは混合栓用締付工具を使用して、しっかり締め込んでください。

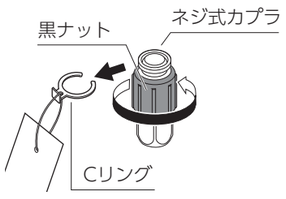
⚠注意　**破損の原因となります**
蛇口取付ナットを締め込んだ状態で向きの調整をしないでください。

⚠注意　天板に本体部を取り付ける際、不安定な場合は「あて木」などで補強を行ってください。

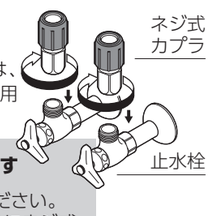
※寒冷地仕様の場合
ワンタッチカプラはフレキシブルホースに接続されていません。接続方法は「1-❻の寒冷地仕様の場合」をご参照ください。

1-❹止水栓にネジ式カプラを取り付ける

①ネジ式カプラの C リングをはずし､｢ゆるむ→｣方へ回します。

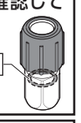


②止水栓にネジ式カプラを取り付けます。
※ネジ式カプラは平行ネジ（Gネジ）です。
※止水栓がテーパーネジ(Rネジ)の場合は、テーパーネジ(Rネジ)用アダプターを使用してください。

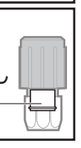


⚠注意 水漏れのおそれがあります
平行ネジにはシールテープを巻かないでください。
止水栓にネジ式カプラを取り付けた際、充分にネジ式カプラが締め込まれているか確認してください。

ネジ式カプラの中のパッキンが脱落していないか確認してください。

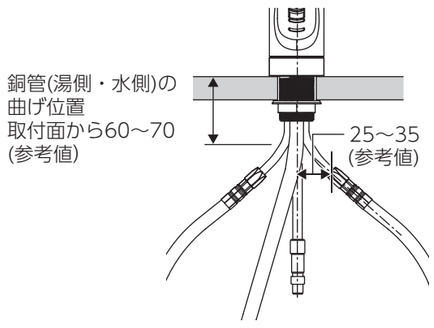


【要確認】
通常仕様‥‥逆止弁あり
寒冷地仕様‥‥逆止弁なし



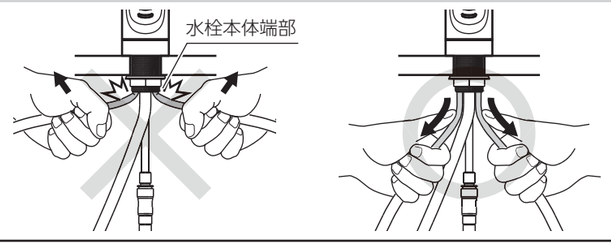
1-❺銅管（湯側・水側）を曲げてネジ式カプラとブレードホースを接合する

①銅管（湯側・水側）を取付面から60～70㎜の位置で曲げます。



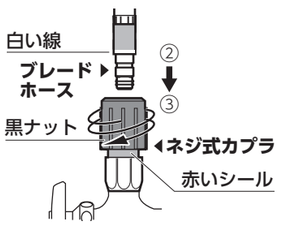
銅管を曲げる際の注意点

⚠注意 水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります
銅管を曲げる際は、銅管が水栓本体端部で折れ曲がらないよう指を添えるなどしてゆるやかに曲げてください。

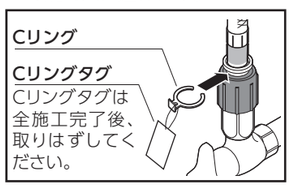


②ブレードホースを白い線までネジ式カプラに差し込みます。

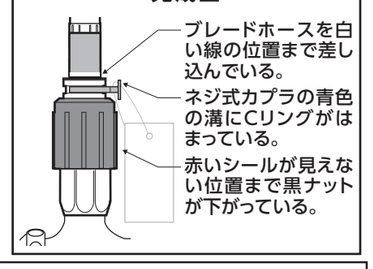
③ネジ式カプラの赤いシールが見えなくなるまで黒ナットを締めます。



④Cリングをネジ式カプラの青色の溝にハメ込みます。



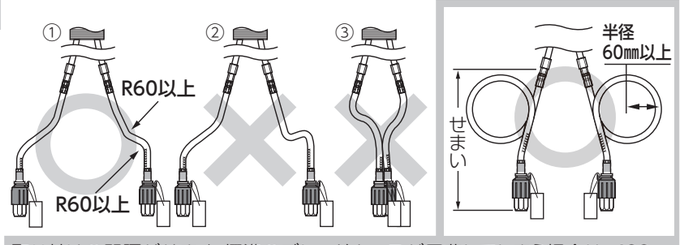
完成図



⚠注意 水が出なくなるおそれがあります

ブレードホース(湯側・水側)の施工上の注意点

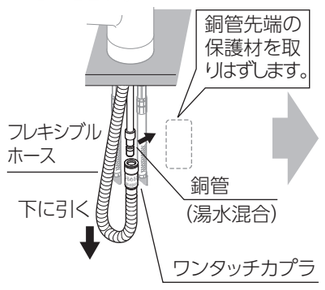
①ブレードホースの**折れに注意して**ください。ブレードホースを最小曲げ半径(60㎜)よりも小さく曲げて使用すると、ブレードホースが折れることがあり、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。施工時には最小曲げ半径(60㎜)よりも小さく曲げないように、注意してください。
②ブレードホース端面から**極端に屈曲して、施工しない**でください。
③ブレードホース同士の**不要な接触は避けて**ください。外部補強層の摩耗による外傷でブレードホースの性能が劣化するおそれがあります。



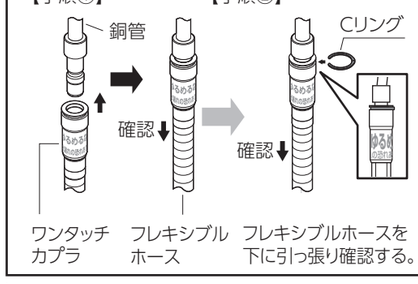
取り付けの間隔がせまく、標準のブレードホースが屈曲してしまう場合は、**400㎜タイプ**または**580㎜タイプ**のブレードホースを用いて屈曲しないよう、図の様に取り付けてください。

1-❻フレキシブルホースを吐水口側の銅管(湯水混合)に取り付ける

①フレキシブルホースをシンク下に引き出し銅管(湯水混合)に接続してください。

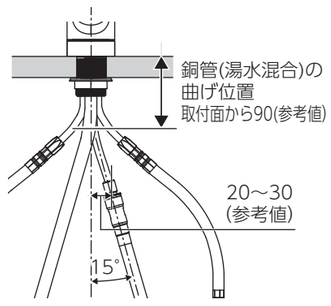


⚠注意 漏水の原因となります
必ず【手順①】～【手順②】に従ってCリングをワンタッチカプラへ取り付けてください。

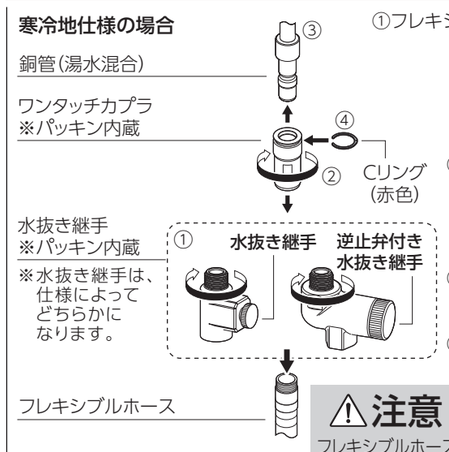


①銅管にワンタッチカプラを**カチッと音がするまで確実に差し込んだあと**、フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを確認します。
②Cリングをワンタッチカプラに取り付けます。Cリングの取り付けは、**必ずワンタッチカプラと銅管を接続したあと**に行ってください。
先にCリングを取り付けると**ワンタッチカプラを銅管へ接続できません。**
Cリングを取り付けたあと、フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを再度確認します。(接続が不完全な場合、**漏水の原因**となります)

②銅管(湯水混合)を正面からみて15°右に曲げます。

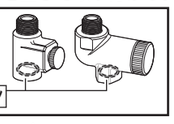


寒冷地仕様の場合



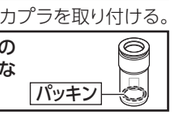
①フレキシブルホースに**水抜き継手を回して**取り付ける。

水抜き継手の中のパッキンが脱落していないか確認してください。



②水抜き継手にワンタッチカプラを取り付ける。

ワンタッチカプラの中のパッキンが脱落していないか確認してください。



③銅管にワンタッチカプラを**カチッと音がするまで確実に差し込み引っ張ってはずれないことを確認する。**
④Cリングを取り付けたあと、フレキシブルホースを**引っ張ってはずれないことを確認する。**

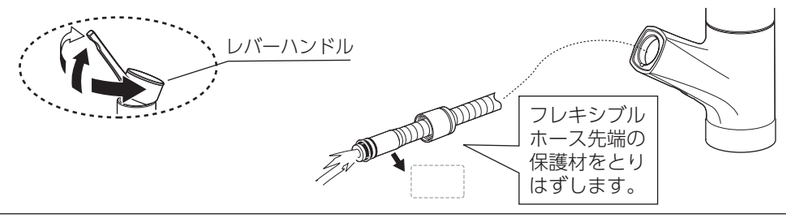
⚠注意 水漏れのおそれがあります
フレキシブルホース、水抜き継手、ワンタッチカプラの接続には適切な工具を使用し、締め込み後は充分に締め込まれているか確認してください。

1-❼水道配管の止水栓を開ける

レバーハンドルが閉じていることを確認してから、配管部およびシンク下の止水栓（湯側・水側）を開けます。

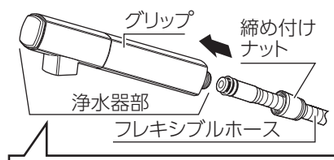
1-❽浄水器部を取り付ける前に給水管内のゴミなどを洗い流す

レバーハンドルを上げて左右に振り、給水・給湯管内のゴミなどを完全に洗い流してください。その後レバーハンドルを下げて閉じてください。

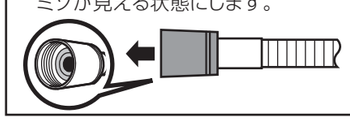


⚠注意
吐水が飛び散らないよう注意してください。

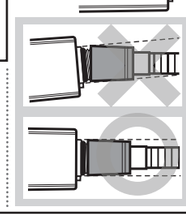
1-❾浄水器部を取り付ける



①締め付けナットを引っ張り、ネジ部のミゾが見える状態にします。

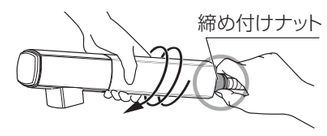


②浄水器部のグリップを持って締め付けナットにまっすぐ入れます。



⚠注意
浄水器部は斜めに取り付けないでください。浄水器部側のネジ山が削れて故障や水漏れの原因になります。

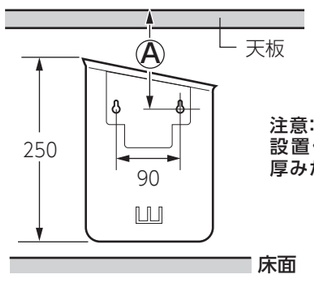
③締め付けナットを固定して浄水器部のグリップを回転させて取り付けます。



⚠注意
フレキシブルホースを回転させて取り付けるとホースがねじれ、故障の原因になります。

1-❿水受けボックスを設置する場合

<シンク下での水受けボックス、ホースストッパー設置位置の目安>



注意:
設置位置Ⓐには天板の厚みが含まれています。

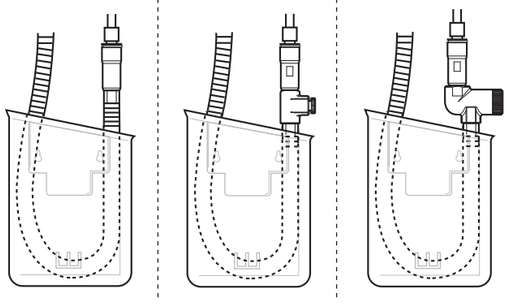
⚠注意
- 水漏れ事故防止のため、当社製水栓金具「みず工房」以外のものに取り付けないでください。
- 水栓本体のスパウトから水が多量に入った際には、水受けボックスを取りはずし、滞留水を捨ててください。
- フレキシブルホースが最も引き出された状態で、フレキシブルホースの最下端が水受けボックスから外に出ないように、ホーストッパーの位置を調節してください。
- 変形するおそれがあります。40℃以上にならないような場所に設置してください。

設置位置一覧表

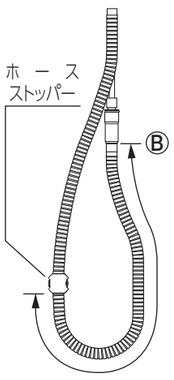
	フレキシブルホースの長さ	設置位置Ⓐ	ホーストッパー位置Ⓑ
通常仕様	1050㎜	360㎜	520㎜
寒冷地仕様	1050㎜	370㎜	510㎜
寒冷地仕様 逆止弁付き水抜き継手	1050㎜	380㎜	520㎜

フレキシブルホースのセッティングの仕方

通常仕様の場合 / 寒冷地仕様の場合 / 寒冷地仕様(逆止弁付き水抜き継手)の場合

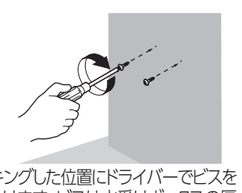


ホーストッパー位置



フレキシブルホースが水受けボックスの中に収まるように水受けボックスの高さを調節します。

調節した位置でフレキシブルホースを抜き､ビス取り付け位置を図のようにペンなどでマーキングします。



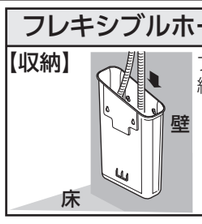
マーキングした位置にドライバーでビスを取り付けます｡ビスは水受けボックスの厚み分残して締め込んでください。

水受けボックスの穴をビスに通します。

水受けボックスを下に引いて固定します。

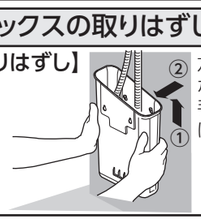
フレキシブルホースの収納と水受けボックスの取りはずし方

【収納】



フレキシブルホースを収納します。

【取りはずし】

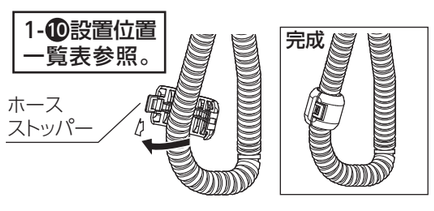


左図のようにして水受けボックスを持ち上げ(①)手前に引いて(②)取りはずします。

1-⓫ホーストッパーを取り付ける

フレキシブルホースをはさみ込みます。

ホーストッパー位置は1-⓾の〈シンク下での水受けボックス、ホーストッパー設置位置の目安〉を参照してください。

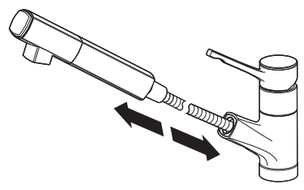


【取り付け上の注意】
浄水器部の引き出しすぎにより、フレキシブルホースが元の位置に戻らないおそれがあります。フレキシブルホースが元の位置に戻るように、引き出し長さをホーストッパーで調節してください。なお、水受けボックスをご使用の場合は、フレキシブルホースが最も引き出された状態で、フレキシブルホースの最下端が水受けボックスから外に出ないようにホーストッパーの位置を調節してください。

2.取り付けが終わったら

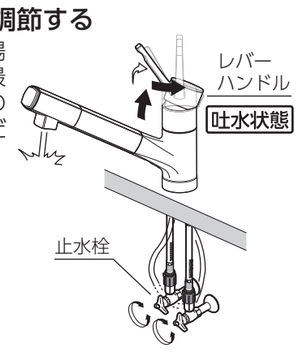
2-❶引き出し･収納がスムーズに行えるか確認する

浄水器部の引き出し、収納を数回行い、正常に戻ることを確認してください。スムーズに出し入れ出来ない場合は、フレキシブルホースが給水･給湯の銅管部や、水受けボックスに干渉している可能性があります。位置を調整してフレキシブルホースの通る空間を確保してください。



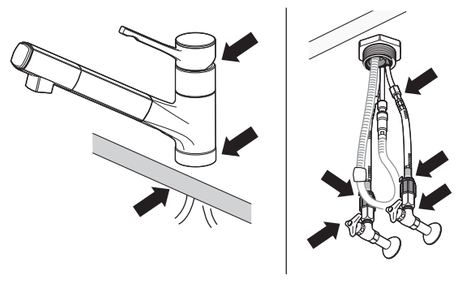
2-❷止水栓で吐水量を調節する

使用時、水側全開および湯側全開のときの吐水量が最適となるように水側･湯側の2つの止水栓を調節してください。



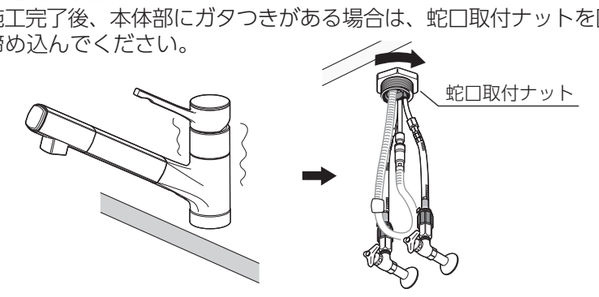
2-❸各接続部の水漏れがないかをチェックする

施工完了後は、配管接続部、ネジ式カプラおよび水栓から水漏れのないことを確認してください。



2-❹本体部がガタついていないかをチェックする

施工完了後、本体部にガタつきがある場合は、蛇口取付ナットを回し、締め込んでください。



施工完了後、品質表示タグは本体に取り付けておいてください。

免責事項

以下の事項にて発生した損失や損害に対して株式会社タカギは一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。ご利用はお客様の責任で行っていただきますようお願いいたします。

1. 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合。
2. 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合。
3. 電気・給水などの供給で指定された以外の環境に起因する故障および損傷。
4. 自然現象や住環境に起因する結露、染み出し・かびなどの現象。
5. 水道に関する国の基準（水道法）に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。

■アフターサービスについて
破損した部分の交換や設置、使用上のご不明な点など、本商品に関する事柄は、当社までお問い合わせください。

■商品に関するお問い合わせは

タカギ・コミュニケーションセンター　ミズは よい水
通話料無料 0120-328-413 24時間電話受付（年中無休）

株式会社 タカギ
http://www.takagi.co.jp/